

活動履歴と今後の予定

- 10/2 つなセン設立総会・設立記念イベント
- 10/9 東松島市あおい地区・あすと長町役員交流会
- 10/18 第1回理事会
玉浦西「楽しく住み易い公営住宅」をみんなでつくる会
- 10/29 コモンミールWG
- 11/3 あすと・まちあるき&ごはん(地底の森ミュージアム)
- 11/5 玉浦西「楽しく住み易い公営住宅」をみんなでつくる会
- 11/9 コモンミールWG
- 11/11 みやぎ地域復興ミーティング(県主催)登壇
- 11/19 あすと食堂スタート!(ハンバーグ定食)
熊本・テクノ仮設視察訪問
- 11/26 石巻COMICHI視察研修
- 11/30 コモンミールWG
- 12/12 第5回つながりデザイン会議「地域包括ケアとNPOの役割」
- 12/13 あすと第三食堂スタート!(カレーランチ)/まちあるき会議
- 12/14 JT NPO応援プロジェクト中間情報交換会出席
- 12/18 あすと食堂(ちゃんこ鍋)
- 12/20 第2回理事会
- 1/21 あすと食堂(手打ちそば)
- 2/22 あすと・まちあるき&ごはん(県庁・市役所)

ラジオやってます!

3.11から ~つなセンストーリー~

毎月第2金曜日 AM9:30-10:00

•エフエムたいはく(78.9Mhz)から、
つなセンの活動の様子を発信しています。
ぜひお聴きください。
※さいまらジオをダウンロードすると
パソコンでも聴くことができます。

会員数
正会員 賛助会員
31 09

facebook
いいね!数
258

2016年12月15日 現在

コミュニティづくりに取り組む方へ

東日本大震災から5年が経過し、住宅の再建は進みましたが、新しい住まいでの暮らしはようやく始まったところです。新たな地で、人間関係をつくり、暮らしやすいコミュニティを育てていくのは、大変なことです。つなセンでは、災害公営住宅、民間マンション等、地域でのコミュニティづくりを支援しています。災害公営住宅での自治会の立ち上げや運営に悩んでいる、集会所をもっと活用したい、多世代が交流できる地域での居場所づくりを進めたい、などなど、お気軽にご相談ください。講演、アドバイザー活動等も積極的に行っています。

会員団体のみなさま

- @グリーン(宮城大学ボランティアサークル) NPO法人 クラップス NPO法人 東日本カウンセリングセンター
- 安全安心なまちづくり 高齢者配食サービス「ほっと亭」 NPO都市住宅とまちづくり研究会 都市建築設計集団/UAPP
- 東北大学 東日本大震災PGT支援機構 NPO法人 仙台傾聴の会 一般社団法人日本で・あーて推進協会
- 日本基督教団東北教区被災者支援センター・エマオ 日本ヨーガ療法学会 認定療法士会みやぎ
- グループひまわり ざわざわプロジェクト NPO法人 みやぎ「こうでねいと」 みやぎ生活協同組合
- 東北工業大学 新井研究室 東北福祉大学 平泉研究室 東北学院大学 坂本研究室 宮城大学 森本研究室

役員名簿

- 代表: 飯塚 正広
- 副代表: 新井 信幸
- 副代表: 薄田 榮一
- 副代表: 平泉 拓
- 理事: 宮本 愛
- 理事: 大友 浪子
- 理事: 加藤 渉
- 理事: 森山 英子
- 監事: 坂本 泰伸

編集後記

記念すべき創刊号をどうにか完成させることができました!ありがとうございます。ただ、フェイスブックやホームページで日常的に情報発信しているなかで、年4回の会報をどんな媒体にしていけばよいのか、いまもお考え中です。会員のみなさまに満足してもらえるのが一番ですが、それが何かを探しています。個人的には、つなセンに関わる一人ひとりのオモイがもれ伝わるものにしてあげたらと思っています。

特定非営利活動法人
つながりデザインセンター・あすと長町
〒982-0005 仙台市太白区諏訪町2番8-302号
TEL 022-748-6607
WEB www.tsuna-cen.com

あすと新聞は日本NPOセンターの資金援助を受けて発行しています。



ヒト・モノ・コトをゆるやかにつないでいく

01
2016.12

あすと新聞

ASUTO NEWS



11月19日にオープンした「あすと食堂」。世代を越えたきわいが生まれました。

つなセン誕生しました

復興各地との交流・情報提供(東松島・岩沼)
まちあるき&ごはん
「あすと食堂」オープン!
【団体紹介】高齢者配食サービス「ほっと亭」

あすと新聞 創刊のごあいさつ

東日本大震災から5年半が経ちましたが、振り返れば、自宅の倒壊から始めて、あすと長町仮設住宅に入居して、自治会長になって、居住者のトラブルがあれば走り、救急車が来ればまた走り、すぐにサンダルの底はボロボロになる、私の復興過程はそんな日々の連続でした。そうした最中、外部から多くのご支援をいただき、とても勇気付けられてきました。その経験から、これからの地域社会は、外部の支援者とゆるやかにつながりながら運営していくのがいい、そんな思いを持つようになり、「つなセン」の設立に至りました。まだまだ東北の復興は道半ば。そして、熊本等の被災地の復興はこれからです。そうしたところにも、これまでの経験をお伝えできればと思っています。多様なメディアを駆使して情報発信に努めたいと思いますが、まずは年4回発行予定の「あすと新聞」を楽しみにしていただけただけなら幸いです。多くの方々に信頼を得られる組織に成長できるよう、しっかりと取り組んで参りますので、引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。

2016年12月吉日

つながりデザインセンター・あすと長町
代表理事 飯塚正広



活動報告



Main Topic

つなセン 誕生しました

1 設立総会

10月2日、つながりデザインセンター・あすと長町の設立総会を、長町商店街にある古民家レストラン・長町遊楽庵びすた〜りで開催しました。設立総会に向けては、あすと長町仮設住宅から活動を続けてきた支援団体や住民の方々と何度も設立準備会を重ね、設立趣旨や事業の柱、運営体制等、組織の骨格を固めてきました。

総会では、16名の出席者の下、設立趣旨書、定款、役員の選任、事業計画及び活動予算等、全議案がつつがなく可決され、無事につなセン設立となりました。その後、仙台市へNPO法人の設立認証申請の手続きを進め、12月16日、認証を受けることができました。

2 設立記念 パネルディスカッション

午後からは「復興から始まる『つながりデザイン』」をテーマに、パネルディスカッションを開催しました。定員超過の75名の方にご参加いただき、皆さんには窮屈な思いをさせていただきましたが、多くの方につなセン設立に立ち会っていただくことができました。「阪神から学ぶ復興まちづくり」として室崎益輝氏、「幻燈会・つなぐまち育て」として延藤安弘氏に、それぞれ基調講演をいただき、先生方を囲んでのディスカッションに続きました。「NPOは目前の課題を解決するだけで満足してはいけない。社会制度を変えていく責任を持っている」という両先生からの言葉が胸に残りました。

3 懇親会

長丁場の一日でしたが、締めくくりは、びすた〜りの美味しいイタリアンと一番町のジャズバーKABOのピアノトリオによる演奏をBGMに懇親会となりました。こちらも40名を超える方々に参加いただき、これからつなセンで取り組んでいきたいことで盛り上がり、和気あいあいとした中で交流を深めることができました。



会員
団体紹介
No.01

高齢者配食サービス 「ほっと亭」



長町病院の管理栄養士を長く務めていた寺島知子さんが、退職を機に仲間と立ち上げた配食サービスです。長町病院の職員と患者・住民さんでつくる「仙台南健康友の会」が母体となり、当初は友の会会員向けのサービスだったそうですが、今は限定せず、どなたでも希望する人は利用できます。配食サービスは、食事の提供ということだけでなく、一人暮らし高齢者の安否確認の役割も大きいといえます。10年間の活動の間には、はっとすることが2回ほどあったそうです。1回は、自宅で一人で亡くなった方を配達スタッフの方が発見したこと、もう1回は、自宅で倒れて動けなくなっていた方を、やはり配食スタッフが発見して助けたこと。多くのボランティアと一緒に動きながら食事づくりに携わってきた経験を活かし、「あすと食堂」の主力メンバーになっていただいています。

Topics

復興各地との交流・情報提供 (東松島あおい 10/9・岩沼玉浦西 10/18, 11/5)

10月9日、あおい地区会(東松島市)の役員ら約20名があすと長町を訪れ、つなセンメンバー、あすと長町災害公営住宅の居住者らとコミュニティづくりについての意見交換を行いました。あおい地区は集団移転によって新しく出来上がった住宅地(580戸)で、NPO都市住宅とまちづくり研究会(つなセン会員)がまちづくりコーディネートを



実施してきました。今後も継続的に情報交換して、親睦を深めていくことになりました。

10月18日と11月5日、玉浦西地区(岩沼市)の災害公営住宅B-1地区の居住者等の懇談会に参

加し、あすと長町での取り組みについての紹介等を行ってきました。玉浦西地区は、被災した6つの集落が集団移転によって1つとなり、元の集落ごとに自力再建住宅と災害公営住宅が混ざり合った新しいまち(約300戸)です。

つなセンには、手島浩之さん(つなセン会員)が設計したB-1地区の中庭を活用した、コミュニティデザインへの支援依頼があり、今後も継続してサポートしていくことになりました。なお、手島さんは、今年、災害公営住宅B-1地区の設計でグッドデザイン賞(2016)を受賞されました。おめでとうございます!



まちあるき&ごはん 11/3

晴天に恵まれた文化の日、「まちあるき&ごはん」を開催しました。災害公営住宅居住者、東北学院大、宮城大、東北工大の学生・教員とちびっこ、全30名ほどが参加しました。紅葉した並木道を30分ほど歩いて「地底の森ミュージアム」に行き、レストラン等でお昼ごはんを満喫し、帰りは50分ほど歩いて公営住宅へ。また、「小さい秋」を



テーマに、タブレットでの写真撮影にも挑戦し、皆思い思いの「秋」を切り取りました。その後戻って早速プリントアウトし、一番新しい思い出話で盛り上がりたりもしました。次回は来年2月22日の開催を予定しています。

「あすと食堂」オープン! 11/19

11月19日、はじめての「あすと食堂」をあすと長町災害公営住宅にて開催しました。この日はハンバーグ定食、スープとバナナケーキ付きで300円。あいにくの雨模様でしたが、開店前の時間から公営住宅居住者の方々がやってきて料理とともに会話を楽しんだり、公営住宅の居住者を中心につなセンスタッフ、お手伝い(公営住宅居住者、東北工業大・東北学院大・宮城大の学生)を含め37食が出る盛況ぶりでした。当面、月2,3回のペースで開催し、ゆくゆくは週1以上開催を予定しています。

